

授業科目	ホテル概論 I	授業形態	講義	区分	必修
年次	1年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテルの宿泊部門から料飲部門の職務に関する基礎知識を幅広く身に付けることを目的とする。また、講義を通して学生自身が目指す職業像を明確にすることを目指す。</p> <p>【概要】 ホテルで主に接客を担当する部署の業務内容について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホテルの職種について説明することができる。 2. それぞれの職種のやりがいについて理解することができる。 3. ホテル実務技能認定試験初級に合格できる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: ホテルの定義</p> <p>02: ホテルの歴史</p> <p>03: ホテル関連の法律</p> <p>04: ホテル関連団体</p> <p>05: ホテルの分類</p> <p>06: ホテルの発達の歴史 (ヨーロッパ)</p> <p>07: ホテルの発達の歴史 (アメリカ)</p> <p>08: ホテルの発達の歴史 (日本)</p> <p>09: ホテルサービスの特色</p> <p>10: ホテルの役割</p> <p>11: 宿泊部門の職種</p> <p>12: 客室の分類 1</p> <p>13: 客室の分類 2</p> <p>14: ホテル・マネジメント 1</p> <p>15: ホテル・マネジメント 2</p>				
テキスト 参考文献	ウィネット「フロント・オフィス編」「フロント・サービス編」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	ホテル概論Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
年次	1年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテルの宿泊部門から料飲部門の職務に関する基礎知識を幅広く身に付けることを目的とする。また、講義を通して学生自身が目指す職業像を明確にすることを旨とする。</p> <p>【概要】</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホテルの職種について説明することができる。 2. それぞれの職種のやりがいについて理解することができる。 3. ホテル実務技能認定試験初級に合格できる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 料飲部門の施設</p> <p>02: フランス料理の基礎</p> <p>03: 中国料理の基礎</p> <p>04: 日本料理の基礎</p> <p>05: 飲料の基礎</p> <p>06: 婚礼ビジネス</p> <p>07: 一般宴会ビジネス</p> <p>08: MICEビジネス</p> <p>09: スタッフに求められる能力</p> <p>10: ホスピタリティ基礎</p> <p>11: ホテルの安全管理</p> <p>12: 防災の知識</p> <p>13: 食中毒への対応</p> <p>14: コンプライアンス</p> <p>15: 環境への配慮</p>				
テキスト 参考文献	ウィネット「レストラン・宴会編」「バー・ラウンジ編」「ホテル業務関連知識」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

■ホテル・ウェディング科					
授業科目	ブライダル概論 I	授業形態	講義	区分	必修
年次	1年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ブライダルの歴史や文化を学び、結婚についての理解を深める。また、現在のブライダル産業の現状を把握して、将来の就職活動につながる基礎力を身に付ける。</p> <p>【概要】 日本のブライダル業界の歴史、文化、流行についての基礎知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 結婚の定義や文化・歴史について説明することができる 結婚式のスタイルの違いについて説明することができる。 アシスタントブライダルコーディネーター試験に合格できる。 				
授業内容	<p>回</p> <ol style="list-style-type: none"> 01: 結婚の定義について 02: 日本の結婚式の歴史と文化 03: 欧米の結婚式の歴史と文化 04: ブライダルビジネスについて 05: ブライダルマーケットについて 06: ブライダル業界の概要について 07: ブライダル関連事業について 08: ブライダルの地域別特色について 09: キリスト教式について 10: 神前式について 11: 仏前式について 12: 人前式について 13: 披露宴について 14: 海外挙式と新婚旅行について 15: 打合せ業務について 				
テキスト 参考文献	BIA「アシスタント・ブライダル・コーディネーター」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	ブライダル概論Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
年次	1年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ブライダルの歴史や文化を学び、結婚についての理解を深める。また、現在のブライダル産業の現状を把握して、将来の就職活動につながる基礎力を身に付ける。</p> <p>【概要】</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 結婚の定義や文化・歴史について説明することができる 結婚式のスタイルの違いについて説明することができる。 アシスタントブライダルコーディネーター試験に合格できる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: コーディネート・空間デザイン</p> <p>02: ドレス・衣裳の選定</p> <p>03: フラワーアイテムの選定</p> <p>04: ヘアメイク・ネイルアート</p> <p>05: 会場コーディネート</p> <p>06: テーブルコーディネート</p> <p>07: 料理・飲み物</p> <p>08: 披露宴の演出</p> <p>09: 引出物</p> <p>10: 結婚式当日の業務</p> <p>11: 挙式・披露宴進行表</p> <p>12: アテンド業務</p> <p>13: テーブルセッティング</p> <p>14: サービス業務</p> <p>15: 終了後の作業</p>				
テキスト 参考文献	BIA「アシスタント・ブライダル・コーディネーター」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	ホテルビジネス論 I	授業形態	講義	区分	必修
年次	1年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテルの実務について理解を深めることを目的とする。接客にあたる部門はもちろんのこと、バックヤードでホテルを支える業務に従事するスタッフの仕事についても理解を広げる。</p> <p>【概要】 ホテルの接客から運営の基礎知識と各部署間の関連性を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. ホテルの組織について正確に理解している。</p> <p>2. ホテルビジネス実務検定1級に合格することができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 観光産業の概要</p> <p>02: ホテル産業の概要</p> <p>03: スタッフに求められる基礎知識</p> <p>04: ホテル英語 1</p> <p>05: ホテル英語 2</p> <p>06: ホテル英語 3</p> <p>07: 宿泊部門の概要</p> <p>08: 宿泊部門の業務</p> <p>09: 料飲部門の概要</p> <p>10: 料飲部門の業務</p> <p>11: 宴会部門の概要</p> <p>12: 宴会部門の業務</p> <p>13: 調理部門の概要</p> <p>14: 調理部門の業務</p> <p>15: 食品衛生の概要</p>				
テキスト 参考文献	日本ホテル教育センター「ホテルビジネス基礎編」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

■ホテル・ウェディング科					
授業科目	ホテルビジネス論Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
年次	1年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテルの実務について理解を深めることを目的とする。接客にあたる部門はもちろんのこと、バックヤードでホテルを支える業務に従事するスタッフの仕事についても理解を広げる。</p> <p>【概要】</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホテルの組織について正確に理解している。 2. ホテルビジネス実務検定1級に合格することができる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: マーケティング部門の概要 02: マーケティング部門の業務 03: 総務部門の概要 04: 総務部門の業務 05: 人事部門の概要 06: 人事部門の業務 07: 施設管理部門の概要 08: 施設管理部門の業務 09: 仕入部門の概要 10: 仕入部門の業務 11: 購買部門の概要 12: 購買部門の業務 13: 経理・会計部門の概要 14: 経理・会計部門の業務 15: 予算管理の基礎知識</p>				
テキスト 参考文献	日本ホテル教育センター「ホテルビジネス基礎編」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	ブライダルビジネス論 I	授業形態	講義	区分	必修
年次	1年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ウェディングプランナーとして結婚式・披露宴を運営するイメージをつかむことを目的とする。また、それぞれの部署の役割についても理解を深める。</p> <p>【概要】 挙式披露宴当日の各部署の働きと連携について学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. ウェディングプランナーの仕事について説明することができる。</p> <p>2. アシスタント・ウェディング・プランナー検定に合格できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 接客について</p> <p>02: 会場見学の対応</p> <p>03: 電話での問い合わせ対応</p> <p>04: インターネットでの問い合わせ対応</p> <p>05: お礼状・メールの発送</p> <p>06: 仮予約の受付</p> <p>07: 正式契約の締結</p> <p>08: 挙式までの打合せの流れ</p> <p>09: テーブルプランの作成</p> <p>10: 招待客の決定</p> <p>11: 席次表の作成</p> <p>12: 招待状の作成</p> <p>13: 料理・飲料の決定</p> <p>14: 演出の決定</p> <p>15: 衣裳の決定</p>				
テキスト 参考文献	日本ウディングプランナー・ネットワーク協会「ウェディングプランナーテキスト」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	ブライダルビジネス論Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
年次	1年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ウェディングプランナーとして結婚式・披露宴を運営するイメージをつかむことを目的とする。また、それぞれの部署の役割についても理解を深める。</p> <p>【概要】</p>				
到達目標	<p>1. ウェディングプランナーの仕事について説明することができる。</p> <p>2. アシスタント・ウェディング・プランナー検定に合格できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 会場の装飾・リネン類</p> <p>02: 会場の装飾・フラワー</p> <p>03: ウェディングケーキのデザイン</p> <p>04: BGMの選定</p> <p>05: 引出物の選定</p> <p>06: 全体的な予算の調整</p> <p>07: 写真・映像の手配について</p> <p>08: 司会の手配について</p> <p>09: ペーパーアイテムの手配について</p> <p>10: 当日の進行の説明</p> <p>11: 音響・照明部門との打合せ</p> <p>12: 調理部門との打合せ</p> <p>13: 当日の業務の流れ</p> <p>14: 精算業務</p> <p>15: 婚礼に関する法令</p>				
テキスト 参考文献	日本ウェディングプランナー・ネットワーク協会「ウェディングプランナーテキスト」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	西洋料理演習	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテルやレストランの料飲サービス部門で仕事をするために必要な食材・調理、サービスに関する知識に加え、防災や衛生面など多岐にわたる専門知識を修得する。</p> <p>【概要】 レストランのマネジメントに関する知識を幅広く学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. レストランサービス技能検定学科試験に合格することができる。</p> <p>2. ホテル・レストランにおける料飲サービス業務を説明できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 食品の基礎知識について</p> <p>02: 飲料の基礎知識について</p> <p>03: 料飲サービスの役割について</p> <p>04: スタッフに求められる資質について</p> <p>05: 宴会の運営について</p> <p>06: レストランサービスについて</p> <p>07: 日本料理について</p> <p>08: 西洋料理の変遷について</p> <p>09: 防火管理の業務について</p> <p>10: 防災についての心構えについて</p> <p>11: 苦情対応のスキルについて</p> <p>12: 遺失物の取扱いについて</p> <p>13: 食品衛生について</p> <p>14: 公衆衛生について</p> <p>15: 安全衛生への取り組みについて</p>				
テキスト 参考文献	日本ホテル・レストランサービス技能協会「西洋料理 料飲接客サービス技法」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	ブライダル・マネジメント	授業形態	講義	区 分	必修
年次	2年次	時 期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ウェディングプランナーの仕事の流れを中心に、新規接客から成約、打合せおよび会場コーディネートなど、実際の業務について理解を深める。</p> <p>【概要】 ウェディングプランナーの業務について、打ち合わせから挙式当日までの業務知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接客のスキルを身に付けている。 2. 挙式当日までの仕事の流れを説明することができる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: プランナーの業務について</p> <p>02: セールスのスキルについて</p> <p>03: コミュニケーション・スキルについて</p> <p>04: ブライダル商品の特徴について</p> <p>05: プランニング・スキルについて</p> <p>06: 商品のカスタマイズについて</p> <p>07: 打合せスケジュール表の作成について</p> <p>08: 打合せ業務1「初回打合せ」の内容</p> <p>09: 打合せ業務2「中間打合せ」の内容</p> <p>10: 打合せ業務3「最終打合せ」の内容</p> <p>11: コンセプトシートの作成について</p> <p>12: 会場コーディネートについて</p> <p>13: ドレスのコーディネートについて</p> <p>14: ペーパーアイテムの作成について</p> <p>15: 挙式当日のサービス業務について</p>				
テキスト 参考文献	必要な資料を随時配布する。				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	色彩学入門	授業形態	講義	区分	必修
年次	1年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 会場、テーブル、ドレスなど、結婚式に必要なカラーコーディネート基礎を学ぶ。また、演習を通して色彩検定合格レベルの知識を身に付けることを目指す。</p> <p>【概要】 色彩の基礎知識からコーディネートスキルまでを段階的に身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. カラーコーディネートの基礎的なスキルを身に付けている。</p> <p>2. 色彩検定3級に合格することができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 色の働き 1</p> <p>02: 色の働き 2</p> <p>03: 色の働き 3</p> <p>04: 光と色の仕組み 1</p> <p>05: 光と色の仕組み 2</p> <p>06: 光と色の仕組み 3</p> <p>07: 色の表示方法 1</p> <p>08: 色の表示方法 2</p> <p>09: 色の表示方法 3</p> <p>10: 色彩心理 1</p> <p>11: 色彩心理 2</p> <p>12: 色彩心理 3</p> <p>13: 色彩調和 1</p> <p>14: 色彩調和 2</p> <p>15: 色彩調和 3</p>				
テキスト 参考文献	AFT「色彩検定公式テキスト3級編」、AFT「色彩検定過去問題集」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	色彩学演習	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 会場、テーブル、ドレスなど、結婚式に必要なカラーコーディネート基礎を学ぶ。また、演習を通して色彩検定合格レベルの知識を身に付けることを目指す。</p> <p>【概要】 色彩の基礎知識からコーディネートスキルまでを段階的に身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. カラーコーディネートの基礎的なスキルを身に付けている。</p> <p>2. 色彩検定3級に合格することができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 色彩効果 1</p> <p>02: 色彩効果 2</p> <p>03: 色彩効果 3</p> <p>04: 色彩と生活 1</p> <p>05: 色彩と生活 2</p> <p>06: 色彩と生活 3</p> <p>07: 色彩とファッション 1</p> <p>08: 色彩とファッション 2</p> <p>09: 色彩とファッション 3</p> <p>10: 色彩とインテリア 1</p> <p>11: 色彩とインテリア 2</p> <p>12: 色彩とインテリア 3</p> <p>13: 色彩検定模試 1</p> <p>14: 色彩検定模試 2</p> <p>15: 色彩検定模試 3</p>				
テキスト 参考文献	AFT「色彩検定公式テキスト3級編」、AFT「色彩検定過去問題集」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	ホテル実務 I	授業形態	演習	区分	必修
年次	1年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	ホテルでの 実務経験者
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテルのレストランにおける接客がスムーズに行えるよう、用具の使い方からサービスの技術を身に付ける。</p> <p>【概要】 レストランサービスの技術を演習を通して身に付ける。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. レストランサービスの基本的な技術を身に付けている。 2. 学園のサービスコンテストに出場できる技術を身に付けている。 3. ホスピタリティ・マインドを持った接客ができる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 迎賓の姿勢</p> <p>02: 席への誘導と着席補助</p> <p>03: メニューの提示と説明方法</p> <p>04: オーダーテイクと確認・復唱の方法</p> <p>05: 水のサービス方法</p> <p>06: 注文に応じたセッティング変更</p> <p>07: パン類のサービス方法</p> <p>08: スープ類のサービス方法</p> <p>09: 魚料理のサービス方法</p> <p>10: 肉料理のサービス方法</p> <p>11: ゲリドンサービスの仕方</p> <p>12: プラッターサービスの仕方</p> <p>13: 皿盛り料理のサービス方法</p> <p>14: ソースのサービス方法</p> <p>15: サラダのサービス方法</p>				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	中間試験 50% 期末試験 50% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	ホテル実務Ⅱ	授業形態	演習	区分	必修
年次	1年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	ホテルでの 実務経験者
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテルの各分野の第一線で活躍するスタッフを講師に招き、ホテルの実務についての理解を深めるとともに、実際の仕事の現場を体験することで、仕事のやりがいを学ぶ。</p> <p>【概要】 広範囲にわたるホテル内の業務について、各分野の第一線で活躍するプロが指導する。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実際の現場でホテルマンとしての力を発揮することができる。 2. 各部署の連携の大切さを理解することができる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: フロントの業務体験</p> <p>02: ゲストリレーションの業務体験</p> <p>03: ホテルセールスの業務について</p> <p>04: 宴会サービスの業務について</p> <p>05: ホテル仕入・購買の業務について</p> <p>06: ソムリエの業務体験</p> <p>07: バーテンダーの業務体験</p> <p>08: ホテルのブライダル業務について</p> <p>09: ホテルの総務部の仕事について</p> <p>10: 日本料理レストランでのサービス</p> <p>11: 西洋料理レストランでのサービス</p> <p>12: 中国料理レストランでのサービス</p> <p>13: ホテルのIT業務について</p> <p>14: ホテルの経理部の仕事について</p> <p>15: 客室清掃業務体験</p>				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	中間試験 50% 期末試験 50% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

■ホテル・ウェディング科					
授業科目	ホテル実務Ⅲ	授業形態	演習	区分	必修
年次	1年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	ホテルでの 実務経験者
授業目的 概要	<p>【目的】 レストランサービス技能検定実技試験合格および学園のサービスコンテストに出場することを目的し、レストランサービス、カクテルサービス、デザートサービスのスキルを身に付ける。</p> <p>【概要】 国家試験レストランサービス技能検定に合格できるレベルのサービス技術を習得する。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. レストランサービス技能検定実技試験に合格することができる。 2. 学園のサービスコンテストに出場するスキルを身に付けている。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: オリジナルカクテルの作成実習 1 02: オリジナルカクテルの作成実習 2 03: オリジナルカクテルの作成実習 3 04: オリジナルカクテルの作成実習 4 05: オリジナルカクテルの作成実習 5 06: オリジナルカクテルの作成実習 6 07: オリジナルカクテルの作成実習 7 08: ドリンクサービスの実技演習 1 09: ドリンクサービスの実技演習 2 10: ドリンクサービスの実技演習 3 11: ドリンクサービスの実技演習 4 12: ドリンクサービスの実技演習 5 13: ドリンクサービスの実技演習 6 14: ドリンクサービスの実技演習 7 15: ドリンクサービスの実技演習 8</p>				
テキスト 参考文献	<p>随時参考資料を配布する。</p>				
成績基準	<p>中間試験 50% 期末試験 50% 計 100%</p>				
準備学習 の内容	<p>予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。</p>				

授業科目	ホテル実務Ⅳ	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	ホテルでの 実務経験者
授業目的 概要	<p>【目的】 レストランサービス技能検定実技試験合格および学園のサービスコンテストに出場することを目的し、レストランサービス、カクテルサービス、デザートサービスのスキルを身に付ける。</p> <p>【概要】 国家試験レストランサービス技能検定に合格できるレベルのサービス技術を習得する。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. レストランサービス技能検定実技試験に合格することができる。 2. 学園のサービスコンテストに出場するスキルを身に付けている。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: クレープシュゼットの調理実習 1 02: クレープシュゼットの調理実習 2 03: クレープシュゼットの調理実習 3 04: クレープシュゼットの調理実習 4 05: クレープシュゼットの調理実習 5 06: クレープシュゼットの調理実習 6 07: クレープシュゼットの調理実習 7 08: レストランサービス技能検定 実技演習 1 09: レストランサービス技能検定 実技演習 2 10: レストランサービス技能検定 実技演習 3 11: レストランサービス技能検定 実技演習 4 12: レストランサービス技能検定 実技演習 5 13: レストランサービス技能検定 実技演習 6 14: レストランサービス技能検定 実技演習 7 15: レストランサービス技能検定 実技演習 8</p>				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	中間試験 50% 期末試験 50% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

■ホテル・ウェディング科					
授業科目	ウェディング実務 I	授業形態	演習	区分	必修
年次	1年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	結婚式場での 実務経験者
授業目的 概要	<p>【目的】 ウェディングプランナーの役割とそれに必要な資質について学ぶとともに、新規接客からお客様との信頼関係を築く実践的なスキルを身に付ける。</p> <p>【概要】 ウェディングプランナーに求められる接客の基礎的なスキルを身に付ける。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ウェディングプランナーに求められる資質を身に付ける。 2. 顧客との信頼関係を築くスキルを身に付ける。 				
授業内容	<p>回</p> <ol style="list-style-type: none"> 01: ガイダンスと導入 02: 自己紹介と他己紹介 03: 習得レベルのロールプレイ 04: 最近のブライダル事情について 05: ブライダル業界の常識について 06: 心理学的第一印象アップ方法 07: ディスカッション「結婚すること」 08: ウェディングプランナーの仕事内容 1 09: ウェディングプランナーの仕事内容 2 10: パンフレット作成演習 11: 新規接客のロールプレイ 12: 信頼関係を築くスキル 13: 表情の作り方と敬語 14: 正しい手紙の書き方 1 15: 正しい手紙の書き方 2 				
テキスト 参考文献	<p>随時参考資料を配布する。</p>				
成績基準	<p>レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%</p>				
準備学習 の内容	<p>予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。</p>				

■ホテル・ウェディング科					
授業科目	ウェディング実務Ⅱ	授業形態	演習	区分	必修
年次	1年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	結婚式場での 実務経験者
授業目的 概要	<p>【目的】 顧客との打ち合わせを通して、結婚式に対するイメージや要望を引き出すスキルを身に付ける。また、引き出した顧客の要望を形にする企画力・提案力を養成する。</p> <p>【概要】 結婚式の契約手続きに至るコミュニケーションスキルを実践的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 打合せの手順および質問のスキルを身に付ける。</p> <p>2. 打合せから引き出した内容を結婚式で実践できる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 打合せの流れについて</p> <p>02: 初対面のお客様への接し方</p> <p>03: 契約手続きのロールプレイ 1</p> <p>04: 契約手続きのロールプレイ 2</p> <p>05: 質問のスキル 1</p> <p>06: 質問のスキル 2</p> <p>07: 共感のスキル 1</p> <p>08: 共感のスキル 2</p> <p>09: ラポールのスキル ロールプレイ 1</p> <p>10: ラポールのスキル ロールプレイ 2</p> <p>11: 挙式説明 ロールプレイ 1</p> <p>12: 挙式説明 ロールプレイ 2</p> <p>13: 模擬結婚式の企画</p> <p>14: 模擬結婚式のリハーサル</p> <p>15: 模擬結婚式の実践</p>				
テキスト 参考文献	<p>随時参考資料を配布する。</p>				
成績基準	<p>レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%</p>				
準備学習 の内容	<p>予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。</p>				

■ホテル・ウェディング科					
授業科目	ウェディング実務Ⅲ	授業形態	演習	区分	必修
年次	1年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	結婚式場での 実務経験者
授業目的 概要	<p>【目的】 結婚式場を利用して、模擬結婚式および模擬披露宴の企画・準備と運営を体験する。ブライダル業界の一連の業務を経験することで仕事に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>【概要】 模擬結婚式・披露宴を通して業務の一連の流れを体験し、現場での経験値を上げる。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 連携して結婚式・披露宴の準備を進めることができる。 2. 結婚式当日の業務の流れを理解し説明することができる。 				
授業内容	<p>回</p> <ol style="list-style-type: none"> 01: 模擬結婚式・披露宴のテーマ設定 02: 役割及び作業内容の決定 03: 演出の企画立案 04: ペーパーアイテムの企画と試作 1 05: ペーパーアイテムの企画と試作 2 06: 音源の作成と編集 1 07: 音源の作成と編集 2 08: 演出の構成 1 09: 演出の構成 2 10: 衣装合わせ 1 11: 衣装合わせ 2 12: ペーパーアイテムの制作作業 1 13: ペーパーアイテムの制作作業 2 14: 料飲サービスのトレーニング 1 15: 料飲サービスのトレーニング 2 				
テキスト 参考文献	<p>随時参考資料を配布する。</p>				
成績基準	<p>レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%</p>				
準備学習 の内容	<p>予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。</p>				

授業科目	ウェディング実務Ⅳ	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	結婚式場での 実務経験者
授業目的 概要	<p>【目的】 結婚式場を利用して、模擬結婚式および模擬披露宴の企画・準備と運営を体験する。ブライダル業界の一連の業務を経験することで仕事に対する理解を深めることを目的とする。</p> <p>【概要】 模擬結婚式・披露宴を通して業務の一連の流れを体験し、現場での経験値を上げる。</p>				
到達目標	1. 連携して結婚式・披露宴の準備を進めることができる。 2. 結婚式当日の業務の流れを理解し説明することができる。				
授業内容	回 01: 会場見学 1 02: 会場見学 2 03: 会場打合せ 1 04: 会場打合せ 2 05: 挙式のリハーサル 1 (学内) 06: 挙式のリハーサル 2 (学内) 07: 挙式のリハーサル 3 (学内) 08: 披露宴のリハーサル 1 (学内) 09: 披露宴のリハーサル 2 (学内) 10: 披露宴のリハーサル 3 (学内) 11: 会場リハーサル 1 12: 会場リハーサル 2 13: 会場リハーサル 3 14: 模擬結婚式・披露宴の実施 1 15: 模擬結婚式・披露宴の実施 2				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	コミュニケーション論 I	授業形態	演習	区分	必修
年次	1年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 就職活動に必要なコミュニケーション能力をグループディスカッションのトレーニングを通じて身に付ける。また、将来的に仕事の場面でも活かすことができるスキルにまで磨きをかける。</p> <p>【概要】 就職活動の場面で求められるコミュニケーションスキルを実践的に磨く。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. グループディスカッションで力を発揮することができる。 2. 仕事で役立つコミュニケーション能力を身に付ける。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 就職活動に必要なコミュニケーション力</p> <p>02: 業界求められるコミュニケーション力</p> <p>03: グループディスカッションの流れ</p> <p>04: 採用試験で与えられるテーマ</p> <p>05: 自己紹介の方法について</p> <p>06: ルールや時間管理について</p> <p>07: 役割に応じた対応について</p> <p>08: 全員の意見をまとめる方法</p> <p>09: 結論の発表の手順について</p> <p>10: グループディスカッション実践 1</p> <p>11: 実践 1 のフィードバック</p> <p>12: グループディスカッション実践 2</p> <p>13: 実践 2 のフィードバック</p> <p>14: グループディスカッション実践 3</p> <p>15: 実践 3 のフィードバック</p>				
テキスト 参考文献	<p>随時参考資料を配布する。</p>				
成績基準	<p>レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%</p>				
準備学習 の内容	<p>予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。</p>				

授業科目	コミュニケーション論Ⅱ	授業形態	演習	区分	必修
年次	1年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテル・ブライダル業界の接客において、人間関係の構築から顧客のニーズを引出して提案し、契約成立・購入に至るコミュニケーションスキルの養成を目指す。</p> <p>【概要】 接客の場面におけるコミュニケーションスキルを実践的に学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 顧客と人間構築の構築ができる。 顧客のニーズを引き出すことができる。 契約成立・購入に結びつけることができる。 				
授業内容	<p>回</p> <ol style="list-style-type: none"> 01: 人間関係の構築スキル 1 02: 人間関係の構築スキル 2 03: 心を開くコミュニケーションスキル 1 04: 心を開くコミュニケーションスキル 2 05: ニーズを引き出す質問力 1 06: ニーズを引き出す質問力 2 07: 消費者のウォンツを形にする提案力 1 08: 消費者のウォンツを形にする提案力 2 09: 商品・サービスの説明方法 1 10: 商品・サービスの説明方法 2 11: 消費者の購買心理 12: クロージングスキル 13: ロールプレイ演習 1 14: ロールプレイ演習 2 15: ロールプレイ演習 3 				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	コミュニケーション論Ⅲ	授業形態	演習	区分	必修
年次	1年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 外国人とのコミュニケーションを通して、お互いの国の歴史・文化・宗教などについて理解を深めることができる。また、近年増加の一途を辿る訪日外国人観光客に対応できるスキルを身に付ける。</p> <p>【概要】 外国人とのコミュニケーションを通して、国際理解に必要なスキルを身に付ける。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外国語によるコミュニケーションの基礎力を身に付ける。 2. 日本文化について外国人に説明することができる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 外国人とのコミュニケーション</p> <p>02: 歴史的背景の理解</p> <p>03: 文化的背景の理解</p> <p>04: 宗教的背景の理解</p> <p>05: コミュニケーションゲームの実践</p> <p>06: 外国語による自己紹介の方法</p> <p>07: 日本文化の紹介 グループワーク 1</p> <p>08: 日本文化の紹介 グループワーク 2</p> <p>09: グループによる日本文化の発表会</p> <p>10: スポーツを通じたコミュニケーション</p> <p>11: 卓球大会の実施 1</p> <p>12: 卓球大会の実施 2</p> <p>13: スピーチコンテストの準備</p> <p>14: スピーチコンテストのリハーサル</p> <p>15: スピーチコンテストの実施</p>				
テキスト 参考文献	<p>随時参考資料を配布する。</p>				
成績基準	<p>レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%</p>				
準備学習 の内容	<p>予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。</p>				

授業科目	キャリアデザイン I	授業形態	演習	区分	必修
年次	1年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 職場の基礎力である、自己管理能力・協調行動力・IT活用力・海外行動力を学び、社会人に向けての精神的な独立意識を養成する。また、それぞれの基礎力について検定試験を実施する。</p> <p>【概要】 企業において求められている4つの社会人基礎力を、実践形式の授業で学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 職場の基礎力について説明することができる。</p> <p>2. 職場の基礎力4検定に合格することができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 【自己管理能力】 自己管理の重要性</p> <p>02: 【自己管理能力】 自己管理の実践</p> <p>03: 【自己管理能力】 自分流計画シートの作成</p> <p>04: 【自己管理能力】 自己管理能力検定の実施</p> <p>05: 【協調行動力】 協調行動の重要性</p> <p>06: 【協調行動力】 グループワーク 1</p> <p>07: 【協調行動力】 グループワーク 2</p> <p>08: 【協調行動力】 協調行動力検定の実施</p> <p>09: 【IT活用力】 IT活用力の重要性</p> <p>10: 【IT活用力】 iPadの設定</p> <p>11: 【IT活用力】 Office365の設定</p> <p>12: 【IT活用力】 IT活用力検定の実施</p> <p>13: 【海外行動力】 海外行動力の重要性</p> <p>14: 【海外行動力】 基礎知識と専門用語</p> <p>15: 【海外行動力】 海外行動力検定の実施</p>				
テキスト 参考文献	名古屋大原学園「自己管理能力検定テキスト」、「協調行動力検定テキスト」、「IT活用力検定テキスト」、「海外行動力検定テキスト」				
成績基準	レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	キャリアデザインⅡ	授業形態	演習	区分	必修
年次	1年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 学生個々のキャリア形成に必要な知識や就職後のキャリアプランに必要な情報を体系的に学び、就職活動に向けた準備を進める。</p> <p>【概要】 就職活動の準備段階からキャリア形成に必要な知識を身に付ける。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己探索から自己分析ができる。 2. キャリア形成に向けた方針を定められる。 3. 労働関係法規について理解できる。 				
授業内容	<p>回</p> <ol style="list-style-type: none"> 01: キャリアデザインの基本 02: 充実感を得られる仕事を探す方法 03: 学生生活における目標設定 04: PDCA サイクル実践 05: 説明力と情報発信力 06: リーダーシップについて 07: 自分史作成による自己探索 08: ライフ・ワークバランス 09: ライフ・キャリアについて 10: キャリアの多様性 11: 仕事のやりがい 12: 労働法に関する知識 13: 給与に関する知識 14: 税金に関する知識 15: 社会人基礎力について 				
テキスト 参考文献	大原学園「就職ガイドブック」、「就職ノートブック」				
成績基準	レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	キャリアデザインⅢ	授業形態	演習	区分	必修
年次	1年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 自分の関心や適性を踏まえ、進路を適切に選択することができる。また、就職試験に向けて履歴書作成や筆記試験の対策などの準備を進める。</p> <p>【概要】 就職活動に必要な自己分析、企業研究等を段階的に進める。</p>				
到達目標	<p>1. 自分の進路のイメージをはっきりと持っている。</p> <p>2. 就職試験に臨む準備ができています。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 就職活動ガイダンス</p> <p>02: 自己分析</p> <p>03: 自己PRの作成1</p> <p>04: 自己PRの作成2</p> <p>05: 履歴書の作成</p> <p>06: 筆記試験対策 国語</p> <p>07: 筆記試験対策 数学</p> <p>08: 筆記試験対策 社会・経済</p> <p>09: 筆記試験対策 英語</p> <p>10: 適性検査1</p> <p>11: 適性検査2</p> <p>12: 企業研究</p> <p>13: 志望動機の作成1</p> <p>14: 志望動機の作成2</p> <p>15: OB講演と質問会の開催</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「就職ガイドブック」、「就職ノートブック」				
成績基準	レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	キャリアデザインⅣ	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 就職活動において自分の力を十分に発揮できるよう、さまざまなタイプの面接練習を行う。</p> <p>【概要】 就職活動の面接試験等での自己表現能力を演習形式の授業で養成する。</p>				
到達目標	<p>1. グループワーク・グループディスカッションで力を発揮できる。</p> <p>2. 集団面接・個人面接で力を発揮できる。</p> <p>3. 希望する業界への就職を実現することができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 就職支援サイトへの登録</p> <p>02: 企業へのエントリー</p> <p>03: Web エントリーシートの作成</p> <p>04: グループワークの練習 1</p> <p>05: グループワークの練習 2</p> <p>06: グループワークの練習 3</p> <p>07: グループディスカッションの練習 1</p> <p>08: グループディスカッションの練習 2</p> <p>09: グループディスカッションの練習 3</p> <p>10: 集団面接の練習 1</p> <p>11: 集団面接の練習 2</p> <p>12: 集団面接の練習 3</p> <p>13: 個人面接の練習 1</p> <p>14: 個人面接の練習 2</p> <p>15: 個人面接の練習 3</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「就職ガイドブック」、「就職ノートブック」				
成績基準	レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	マネジメント論 I	授業形態	講義	区分	必修
年次	1年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテル・ブライダル業界を取り巻く政治的な問題について関心を持つとともに理解を深める。</p> <p>【概要】 業界を取り巻く国内外の政治情勢にアンテナを張り、新しいビジネスチャンスを探る。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 国内の政治の構造を理解している。 海外の政治の構造を理解している。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 日本の政治の構造</p> <p>02: 日本国憲法の制定と基本原理</p> <p>03: 基本的人権の保障</p> <p>04: 平和主義</p> <p>05: 国会と立法</p> <p>06: 内閣と行政</p> <p>07: 裁判所と司法</p> <p>08: 地方自治</p> <p>09: 選挙制度</p> <p>10: 国際政治の特質</p> <p>11: 国際社会と国際法</p> <p>12: アメリカの政治の構造</p> <p>13: イギリスの政治の構造</p> <p>14: ドイツの政治の構造</p> <p>15: 中国の政治の構造</p>				
テキスト 参考文献	<p>随時参考資料を配布する。</p>				
成績基準	<p>レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%</p>				
準備学習 の内容	<p>予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。</p>				

授業科目	マネジメント論Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
年次	1年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテル・ブライダル業界を取り巻く経済情勢について関心を持つとともに理解を深める。</p> <p>【概要】 業界を取り巻く経済情勢にアンテナを張り、新しいビジネスチャンスを探る。</p>				
到達目標	<p>1. 国内の経済情勢を理解している。</p> <p>2. 海外の経済情勢を理解している。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 国際連合の役割と課題</p> <p>02: 国際関係の発展</p> <p>03: 地球環境問題</p> <p>04: 資源・エネルギー問題</p> <p>05: 国際社会における日本の役割</p> <p>06: 市場経済の機能</p> <p>07: 国民所得と経済成長</p> <p>08: 金融の仕組みと機能</p> <p>09: 財政の仕組みと機能</p> <p>10: 社会保障と福祉</p> <p>11: 日本の経済情勢</p> <p>12: アメリカの経済情勢</p> <p>13: ヨーロッパの経済情勢</p> <p>14: アジアの経済情勢</p> <p>15: 世界的経済情勢の動向</p>				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	マネジメント論Ⅲ	授業形態	講義	区分	必修
年次	1年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテル・ブライダル業界が今後その業務範囲を広げていく際のビジネスモデルとして、現在注目を集めている業界にスポットを当てその可能性を探る。</p> <p>【概要】 新しいビジネスモデルやコラボレーションの成功事例から今後の業界の在り方を探る。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 他の分野の業界の動向について理解している。 2. 異業種コラボレーションについて基礎知識を有している。 3. 成功事例から新しいビジネスモデルを企画できる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: スポーツビジネス</p> <p>02: ショービジネス</p> <p>03: 音楽業界</p> <p>04: 映画業界</p> <p>05: ファッションビジネス</p> <p>06: MICE ビジネス</p> <p>07: レストランビジネス</p> <p>08: トラベルビジネス</p> <p>09: シニアマーケット・ビジネス</p> <p>10: インバウンド・ビジネス</p> <p>11: 医療・健康ビジネス</p> <p>12: フィットネス・ビジネス</p> <p>13: 地域創生ビジネス</p> <p>14: 海外の事例 1</p> <p>15: 海外の事例 2</p>				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

■ホテル・ウェディング科					
授業科目	マーケティング論 I	授業形態	講義	区分	必修
年次	2年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 マーケティングの基礎理論から実務で活かされているマーケティング・メソッドまで、ホテル・ブライダル業界における顧客満足のために必要な基礎知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 マーケティング理論の概要を総合的に学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基礎理論の変遷について理解している。 2. 実践的なマーケティング・メソッドを理解している。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: マーケティング・コンセプトの変遷</p> <p>02: 生産志向マーケティング</p> <p>03: 製品志向マーケティング</p> <p>04: 販売志向マーケティング</p> <p>05: 顧客志向マーケティング</p> <p>06: 社会志向マーケティング</p> <p>07: ホリスティック・マーケティング</p> <p>08: フィリップ・コトラーの理論</p> <p>09: ピーター・ドラッガーの理論</p> <p>10: セオドア・レビットの理論</p> <p>11: 購買行動モデル</p> <p>12: セグメンテーション</p> <p>13: ポジショニング</p> <p>14: SWOT 分析</p> <p>15: マーケティング・ミックス</p>				
テキスト 参考文献	<p>随時参考資料を配布する。</p>				
成績基準	<p>レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%</p>				
準備学習 の内容	<p>予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。</p>				

授業科目	マーケティング論Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
年次	2年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテル・ブライダル業界の現状や業界を取り巻く社会情勢や経済情勢の変化を把握し、それぞれの市場が抱える課題や問題点や消費者行動の変化などをつかむ。</p> <p>【概要】 ホテル・ブライダル業界の市場の変化を学び、課題や問題点について理解する。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホテル業界の現状とその課題について把握している。 2. ブライダル業界の現状とその課題について把握している。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: マーケティングの概要</p> <p>02: ホテル業界を取り巻く社会情勢</p> <p>03: ブライダル業界を取り巻く社会情勢</p> <p>04: マーケティングのコンセプト</p> <p>05: 戦略的マーケティング</p> <p>06: マーケティング・マネジメント</p> <p>07: ホテル市場の細分化</p> <p>08: ブライダル市場の細分化</p> <p>09: ホテル市場におけるターゲットの設定</p> <p>10: ブライダル市場におけるターゲットの設定</p> <p>11: ホテル市場のリサーチ</p> <p>12: ブライダル市場のリサーチ</p> <p>13: 消費者行動について</p> <p>14: ホテル業界の消費者行動の変化</p> <p>15: ブライダル業界の消費者行動の変化</p>				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 104%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	マーケティング論Ⅲ	授業形態	講義	区分	必修
年次	2年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテル・ブライダル業界のこれまでのビジネス戦略の変化について学ぶとともに、企業の成功事例を参考にして新しいビジネスモデルについての知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 ホテル・ブライダル業界の新しいビジネス戦略について、実際の事例をもとに学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホテル業界の新しいビジネス戦略について理解している。 2. ブライダル業界の新しいビジネス戦略について理解している。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: ホテル業界のサービス戦略</p> <p>02: ブライダル業界のサービス戦略</p> <p>03: ホテル業界の価格戦略の変遷</p> <p>04: ブライダル業界の価格戦略の変遷</p> <p>05: ホテル業界の流通チャネルの変化</p> <p>06: ブライダル業界の流通チャネルの変化</p> <p>07: ホテル業界のプロモーション戦略</p> <p>08: ブライダル業界のプロモーション戦略</p> <p>09: ホテル業界の新しいマーケティング</p> <p>10: ブライダル業界の新しいマーケティング</p> <p>11: 企業の成功事例1 ホテル</p> <p>12: 企業の成功事例2 ホテル</p> <p>13: 企業の成功事例3 ゲストハウス</p> <p>14: 企業の成功事例4 ゲストハウス</p> <p>15: 企業の成功事例5 専門式場</p>				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 105%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	接客理論 I	授業形態	講義	区分	必修
年次	2年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 新入社員に求められる職場のマナーや仕事の進め方を体系的に学ぶ。社内のそれぞれの部署のスタッフに必要な仕事のスキルについて理解を深める。</p> <p>【概要】 社会人に必要な接客マナーの基礎知識を総合的に学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人に必要な仕事のマナーを理解している。 2. 接客のマナーについて理解している。 3. 敬語やビジネス用語について正しい知識を身に付けている。 				
授業内容	<p>回</p> <ol style="list-style-type: none"> 01: 職場のマナー 02: 仕事の進め方 03: 「ほう・れん・そう」の重要性 04: 挨拶と敬語 05: 名刺交換の方法 06: 名刺の管理方法 07: 接客マナー 08: 販売接客の方法 09: 店内接客の方法 10: 営業マナー 11: 商品説明の方法 12: 店内でのクレーム対応 13: 社会人マナー（慶事） 14: 社会人マナー（弔事） 15: 手紙とメールのマナー 				
テキスト 参考文献	大原学園「ビジネスマナー」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	接客理論Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
年次	2年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 社内・社外文書の取扱いや遵守しなければならない法令・規則について学び、コンプライアンスについての理解を深める。</p> <p>【概要】 コンプライアンスを遵守するために社会人として必要な知識を総合的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 社内・社外文書の取扱いについて理解している。</p> <p>2. コンプライアンスについて理解している。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 立居振舞いと姿勢</p> <p>02: 服装と身だしなみ</p> <p>03: 整理整頓・5S</p> <p>04: 健康管理の重要性</p> <p>05: メンタルヘルス</p> <p>06: 文書の取扱い（各種届け出書）</p> <p>07: 文書の取扱い（社内文書）</p> <p>08: 文書の取扱い（社外文書）</p> <p>09: 郵便の知識</p> <p>10: 個人情報保護法</p> <p>11: 障害者差別解消法</p> <p>12: 守秘義務について</p> <p>13: 人間関係の構築理論</p> <p>14: 勤務スケジュールの調整</p> <p>15: 業務上の目標設定</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「ビジネスマナー」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	接客演習 I	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 新入社員に求められる職場のマナーや仕事の進め方を体系的に学ぶ。社内のそれぞれの部署のスタッフに必要な仕事のスキルについて理解を深める。</p> <p>【概要】 接客マナーをロールプレイを通して実践的に身に付ける。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人レベルの美しい立ち居振る舞いができる。 2. 正しい敬語を使うことができる。 3. 社会人レベルの名刺交換や商品説明ができる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 表情のトレーニング</p> <p>02: 美しい立ち方と座り方</p> <p>03: 美しい歩き方</p> <p>04: 話し方と聴き方</p> <p>05: メモを取る方法 1</p> <p>06: メモを取る方法 2</p> <p>07: 状況に応じた挨拶</p> <p>08: 正しい敬語の使い方 1</p> <p>09: 正しい敬語の使い方 2</p> <p>10: 名刺交換の実践 1</p> <p>11: 名刺交換の実践 2</p> <p>12: 商品説明のロールプレイ 1</p> <p>13: 商品説明のロールプレイ 2</p> <p>14: クレーム対応のロールプレイ 1</p> <p>15: クレーム対応のロールプレイ 2</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「ビジネスマナー」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	接客演習Ⅱ	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 訪問・商談の場面からパーティーや冠婚葬祭におけるマナーについてロールプレイを通して実践的に理解する。</p> <p>【概要】 接客の場면을ケース別にロールプレイを経験してスキルを高める。</p>				
到達目標	<p>1. 接客時のマナーを実践することができる。</p> <p>2. 食事やパーティーのマナーについて正しい知識を身に付けている。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 訪問時のアポイントの取り方</p> <p>02: 訪問時のマナー</p> <p>03: 商談の進め方</p> <p>04: 商談のマナー</p> <p>05: 販売接客のロールプレイ 1</p> <p>06: 販売接客のロールプレイ 2</p> <p>07: 食事のマナー (日本料理)</p> <p>08: 食事のマナー (西洋料理)</p> <p>09: 食事のマナー (中国料理)</p> <p>10: 食事のマナー (立食パーティー)</p> <p>11: 冠婚葬祭のマナー 1</p> <p>12: 冠婚葬祭のマナー 2</p> <p>13: 日本のおもてなし</p> <p>14: 外国人観光客へのおもてなし 1</p> <p>15: 外国人観光客へのおもてなし 2</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「ビジネスマナー」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	オフィスビジネス I	授業形態	講義	区分	必修
年次	2年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 企業の第一印象をきめる電話対応のマナーから基本フレーズ、メモの取り方を学ぶ。また、外国人からの電話にも対応できるよう英語での対応フレーズも身に付ける。</p> <p>【概要】 企業における電話のマナーについてケース別に対応するキルを学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電話のマナーについて理解している。 2. 伝言やメモの取り方について理解している。 3. 外国語での電話対応の方法を理解している。 				
授業内容	<p>回</p> <ol style="list-style-type: none"> 01: 電話対応の基本マナー 02: 基本フレーズについて 03: 電話の受け方の基本 04: 内線電話の受け方 05: 電話を取り次ぐ場合の会話 06: 取り次げない場合 1 (不在・外出) 07: 取り次げない場合 2 (休暇・出張) 08: 取り次げない場合 3 (電話中) 09: 取り次げない場合 4 (伝言) 10: 伝言メモの作成 11: 電話のかけ方の基本 12: 取り次いでもらえた場合 13: 取り次いでもらえなかった場合 (伝言) 14: 英語での電話対応 1 15: 英語での電話対応 2 				
テキスト 参考文献	大原学園「ビジネスマナー」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	オフィスビジネスⅡ	授業形態	講義	区分	必修
年次	2年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 社内で取り扱う電子メール、FAX、各種書類についての基礎知識を総合的に学ぶ。</p> <p>【概要】 電子メールや社内・社外文書について、ケース別にその取扱いを学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社内でのPC利用に関して正しい知識を身に付けている。 2. 社内文書について正しく取り扱うことができる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 社会でのPC利用の基礎知識</p> <p>02: 社内でのPCネットワーク</p> <p>03: 社内文書の形式と種類</p> <p>04: 社外文書の形式と種類</p> <p>05: データの取扱いと保存について</p> <p>06: 電子メールの形式</p> <p>07: 電子メール送信のマナー</p> <p>08: FAXの取扱いとマナー</p> <p>09: 文書管理について</p> <p>10: 企画書の形式</p> <p>11: 見積書の形式と取扱い</p> <p>12: 納品書の形式と取扱い</p> <p>13: 請求書の形式と取扱い</p> <p>14: 領収書の形式と取扱い</p> <p>15: プレゼンテーションデータの形式と取扱い</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「ビジネスマナー」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	オフィスビジネス演習 I	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 実際の電話の受け方、取り次ぎ、伝言などビジネスの場面で起きることを想定したロールプレイで対応スキルを身に付ける。また、英語での電話対応についても実践的なトレーニングを行う。</p> <p>【概要】 電話接客のスキルをロールプレイを通して実践的に身に付ける。</p>				
到達目標	1. 基本的な電話対応スキルが身に付いている。 2. 敬語やクッション言葉を使い、心のこもった対応ができる。 3. 英語での電話対応のスキルを身に付けている。				
授業内容	回 01: 伝言メモの作成練習 1 02: 伝言メモの作成練習 2 03: 伝言メモの作成練習 3 04: 伝言復唱のロールプレイ 1 05: 伝言復唱のロールプレイ 2 06: 伝言復唱のロールプレイ 3 07: 電話対応のロールプレイ 1 (不在・外出) 08: 電話対応のロールプレイ 2 (休暇・出張) 09: 電話対応のロールプレイ 3 (電話中) 10: 電話対応のロールプレイ 4 (伝言) 11: 電話対応のロールプレイ 5 (英語) 12: 電話対応のロールプレイ 6 (英語) 13: 電話対応のロールプレイ 7 (英語) 14: 電話対応のロールプレイ 8 (英語) 15: 電話対応のロールプレイ 9 (英語)				
テキスト 参考文献	大原学園「ビジネスマナー」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	オフィスビジネス演習Ⅱ	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスメールの送受信、社外文書の作成についてスムーズに作業が進められるスキルを身に付ける。</p> <p>【概要】 文書作成やメールの送受信について演習を中心にスキルを身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. ビジネスメールの送受信がスムーズにできる。</p> <p>2. 社内・社外文書の作成がスムーズにできる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: ビジネスメールの作成と送受信</p> <p>02: プレゼンテーションでたーの作成演習 1</p> <p>03: プレゼンテーションでたーの作成演習 2</p> <p>04: プレゼンテーションでたーの作成演習 3</p> <p>05: プレゼンテーションの実践 1</p> <p>06: プレゼンテーションの実践 2</p> <p>07: プレゼンテーションの実践 3</p> <p>08: 企画書の作成演習 1</p> <p>09: 企画書の作成演習 2</p> <p>10: 企画書の作成演習 3</p> <p>11: 稟議書の作成演習</p> <p>12: 見積書の作成演習</p> <p>13: 納品書の作成演習</p> <p>14: 請求書の作成演習</p> <p>15: 領収書の作成演習</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「ビジネスマナー」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	情報処理基礎 I	授業形態	講義	区分	必修
年次	2年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Word の基本操作から文字入力、ビジネス文書の作成知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 Microsoft Word の機能や文書の作成に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. Word の基本操作および文字入力ができる。</p> <p>2. 社内文書・社会文書などビジネス文書について理解している。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 【Word】新規文書を作成する</p> <p>02: 【Word】文字を入力する</p> <p>03: 【Word】文書を保存する</p> <p>04: 【Word】ビジネス文書の基本ルール</p> <p>05: 【Word】文字列の配置を変更する</p> <p>06: 【Word】タブで文字の位置を揃える</p> <p>07: 【Word】レポート作成の基本ルール</p> <p>08: 【Word】文字のコピーと移動</p> <p>09: 【Word】行や段落の間隔を調整する</p> <p>10: 【Word】表を挿入する</p> <p>11: 【Word】表の形や配置を整える</p> <p>12: 【Word】画像を挿入する</p> <p>13: 【Word】表のデザインを変更する</p> <p>14: 【Word】ワードアートを作成する</p> <p>15: 【Word】図形を編集する</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「パソコン実習」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	情報処理基礎Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
年次	2年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Excel の基本操作から表計算、関数の活用、グラフの作成、データベースの活用知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 Microsoft Excel の機能や表計算に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 表計算や関数についての知識を身に付けている。 2. グラフの構造やデータベースの活用方法について理解している。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 【Excel】新規ブックの作成</p> <p>02: 【Excel】数式の入力</p> <p>03: 【Excel】関数の活用 1</p> <p>04: 【Excel】表の編集作業</p> <p>05: 【Excel】ページレイアウトの設定</p> <p>06: 【Excel】関数の活用 2</p> <p>07: 【Excel】文字や数字の自動入力</p> <p>08: 【Excel】ワークシート間の集計</p> <p>09: 【Excel】複数シートの同時編集</p> <p>10: 【Excel】複数シート間のデータ集計</p> <p>11: 【Excel】グラフの作成</p> <p>12: 【Excel】グラフの編集</p> <p>13: 【Excel】複合グラフの作成</p> <p>14: 【Excel】データベースの機能の利用</p> <p>15: 【Excel】データの抽出</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「パソコン実習」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	情報処理演習 I	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 職場に必要なビジネス文書を手際よく作成・処理できるタイピング・スキルおよび文書作成能力を身に付ける。</p> <p>【概要】 Microsoft Word を利用した演習で文書作成スキルを身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. スピーディーに文書を作成できるタイピング能力を身に付ける。</p> <p>2. 見やすく美しいビジネス文書を作成することができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 【Word】 文書作成演習 1</p> <p>02: 【Word】 文書作成演習 2</p> <p>03: 【Word】 文書作成演習 3</p> <p>04: 【Word】 ビジネス文書作成演習 1</p> <p>05: 【Word】 ビジネス文書作成演習 2</p> <p>06: 【Word】 ビジネス文書作成演習 3</p> <p>07: 【Word】 レポートと報告書の作成演習 1</p> <p>08: 【Word】 レポートと報告書の作成演習 2</p> <p>09: 【Word】 レポートと報告書の作成演習 3</p> <p>10: 【Word】 表を使った文書の作成演習 1</p> <p>11: 【Word】 表を使った文書の作成演習 2</p> <p>12: 【Word】 表を使った文書の作成演習 3</p> <p>13: 【Word】 画像・図形を使った文書作成 1</p> <p>14: 【Word】 画像・図形を使った文書作成 2</p> <p>15: 【Word】 画像・図形を使った文書作成 3</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「パソコン実習」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	情報処理演習Ⅱ	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 職場に必要なワークシートやグラフ、データベースについて、手際よく作成・処理できるスキルを身に付ける。</p> <p>【概要】 Microsoft Excel を利用した演習で表計算やデータ分析のスキルを身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. 効率的な処理に必要な数式や関数について理解している。</p> <p>2. 見やすく美しいグラフ、データベースの活用ができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 【Excel】表作成の基本演習 1</p> <p>02: 【Excel】表作成の基本演習 2</p> <p>03: 【Excel】表の編集操作の演習 1</p> <p>04: 【Excel】表の編集操作の演習 2</p> <p>05: 【Excel】数式・関数の演習 1</p> <p>06: 【Excel】数式・関数の演習 2</p> <p>07: 【Excel】ワークシート間集計の演習 1</p> <p>08: 【Excel】ワークシート間集計の演習 2</p> <p>09: 【Excel】グラフの作成演習 1</p> <p>10: 【Excel】グラフの作成演習 2</p> <p>11: 【Excel】目的別グラフ作成演習 1</p> <p>12: 【Excel】目的別グラフ作成演習 2</p> <p>13: 【Excel】データベース機能の演習 1</p> <p>14: 【Excel】データベース機能の演習 2</p> <p>15: 【Excel】データベース機能の演習 3</p>				
テキスト 参考文献	大原学園「パソコン実習」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	卒業研究 I	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテル・ブライダル業界が抱える問題や課題を調査研究し、それらを打開する新しいビジネスモデルを企画立案する。そして、その企画を提案書にまとめてプレゼンテーションを行う。</p> <p>【概要】 ホテル・ブライダル業界について調査を行い研究テーマを設定する。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業界が抱える課題や問題について適切な情報収集ができる。 2. 収集した情報を分析し、新しいビジネスモデルを立案できる 3. 提案書やプレゼンテーションデータを作成することができる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: オリエンテーション</p> <p>02: 業界の調査・研究 1</p> <p>03: 業界の調査・研究 2</p> <p>04: 業界の調査・研究 3</p> <p>05: 統計資料・データの収集 1</p> <p>06: 統計資料・データの収集 2</p> <p>07: 統計資料・データの収集 3</p> <p>08: 現地調査 1</p> <p>09: 現地調査 2</p> <p>10: 現地調査 3</p> <p>11: アンケート調査 1</p> <p>12: アンケート調査 2</p> <p>13: テーマの検討 1</p> <p>14: テーマの検討 2</p> <p>15: テーマの決定</p>				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	卒業研究Ⅱ	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテル・ブライダル業界が抱える問題や課題を調査研究し、それらを打開する新しいビジネスモデルを企画立案する。そして、その企画を提案書にまとめてプレゼンテーションを行う。</p> <p>【概要】 卒業研究の中間発表に向けて資料作成を進める。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業界が抱える課題や問題について適切な情報収集ができる。 2. 収集した情報を分析し、新しいビジネスモデルを立案できる 3. 提案書やプレゼンテーションデータを作成することができる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 中間発表データ作成 1 02: 中間発表データ作成 2 03: 中間発表データ作成 3 04: 中間発表データ作成 4 05: 中間発表データ作成 5 06: 中間発表データ作成 6 07: 中間発表データ作成 7 08: 中間発表データ作成 8 09: 中間発表データ作成 9 10: 中間発表データ作成 10 11: 中間発表 1 12: 中間発表 2 13: 質疑応答 1 14: 質疑応答 2 15: 修正事項の確認</p>				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	卒業研究Ⅲ	授業形態	演習	区分	必修
年次	2年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテル・ブライダル業界が抱える問題や課題を調査研究し、それらを打開する新しいビジネスモデルを企画立案する。そして、その企画を提案書にまとめてプレゼンテーションを行う。</p> <p>【概要】 卒業研究発表に向けた最終的な資料・現行の作成作業を進める。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業界が抱える課題や問題について適切な情報収集ができる。 2. 収集した情報を分析し、新しいビジネスモデルを立案できる 3. 提案書やプレゼンテーションデータを作成することができる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 研究データ修正 1 02: 研究データ修正 2 03: 研究データ修正 3 04: 研究発表用の資料作成 1 05: 研究発表用の資料作成 2 06: 研究発表用の資料作成 3 07: 研究発表用の資料作成 4 08: 研究発表用の資料作成 5 09: プレゼンテーションデータ作成 1 10: プレゼンテーションデータ作成 2 11: プレゼンテーションデータ作成 3 12: 発表リハーサル 1 13: 発表リハーサル 2 14: 発表リハーサル 3 15: 卒業研究発表会</p>				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	レポートなどの提出物 50% 実践、発表 50% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

■ホテル・ウェディング科					
授業科目	宿泊業務概論	授業形態	講義	区分	選択
年次	1年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテルの宿泊部門の業務内容についての専門知識を習得する。また、各部署が担うゲストに対する役割や責任についても理解を深める。</p> <p>【概要】 ホテル宿泊部門の詳細な業務内容について理解を深める。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宿泊部門の組織と職種について理解している。 2. 各部署が担う役割と連携について説明できる。 3. ゲストとの関係性やその重要性について理解している。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: フロント・オフィスの役割</p> <p>02: 客室のタイプと料金</p> <p>03: リザーベーション業務</p> <p>04: レセプション チェックイン業務</p> <p>05: レセプション チェックアウト業務</p> <p>06: フロントキャッシャー業務</p> <p>07: 宿泊料金の計算</p> <p>08: インフォメーション業務</p> <p>09: 防犯業務</p> <p>10: 宿泊部門の業務</p> <p>11: ドアマンの業務</p> <p>12: ベルマンの業務</p> <p>13: クロークの業務</p> <p>14: ハウスキーピングの業務</p> <p>15: コンシェルジュの業務</p>				
テキスト 参考文献	ウィネット「ホテルテキスト宿泊Ⅰ フロント・オフィス編」、「ホテルテキスト宿泊Ⅱ フロント・サービス編」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	料飲業務概論	授業形態	講義	区分	選択
年次	1年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテルの料飲部門の業務内容についての専門知識を習得する。また、食材や調理に関する基礎知識やレストランや宴会の運営方法についても理解を深める。</p> <p>【概要】 ホテル料飲部門の詳細な業務内容について理解を深める。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 料飲部門の組織と職種について理解している。 2. 宴会業務の運営について理解している。 3. 食材や調理方法についての基礎知識を有している。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 料飲部門の役割</p> <p>02: 什器・食器・備品類の知識</p> <p>03: メニューの役割</p> <p>04: 西洋料理の基礎知識</p> <p>05: 朝食の基礎知識</p> <p>06: 日本料理・中国料理の基礎知識</p> <p>07: レストランの概要</p> <p>08: レストランサービス</p> <p>09: サービス技術</p> <p>10: ルームサービス</p> <p>11: レストラン運営の基本</p> <p>12: 宴会部門の概要</p> <p>13: 宴会予約について</p> <p>14: 宴会サービス</p> <p>15: 婚礼サービスと慶弔の知識</p>				
テキスト 参考文献	ウィネット「ホテルテキスト料飲Ⅰ レストラン・宴会編」、「ホテルテキスト料飲Ⅱ バー・ラウンジ編」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	ホテル業務関連知識	授業形態	講義	区分	選択
年次	1年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテル業界の防災、食品衛生、安全衛生、環境・資源、危機管理などの問題とそれを規制する法令について体系的に学ぶ。また、ホテルの歴史や求められる人材についても理解を深める。</p> <p>【概要】 ホテルの組織から関連法規までを体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ホテル業界が抱える諸問題についての基礎知識を備えている。 2. ホテル関連の法令等についての知識を身に付けている。 3. ホテルで求められる人材について理解している。 				
授業内容	<p>回</p> <ol style="list-style-type: none"> 01: ホテルスタッフに求められるスキル 02: ホテルの種類と組織 03: ホテルの歴史（海外） 04: ホテルの歴史（日本） 05: 旅館業法と国際観光ホテル整備法 06: 食品衛生の基礎 07: 食物アレルギーの基礎 08: 建築基準法 09: 消防法 10: 個人情報保護法 11: 環境問題対策（ISO14000 シリーズ） 12: マーケティングの概念 13: 国際的な社交マナー 14: 外国人との会話スキル 15: 危機管理の概要 				
テキスト 参考文献	ウィネット「ホテルテキスト ホテル業務関連知識」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

Syllabus

■ホテル・ウェディング科					
授業科目	ホテル会計学	授業形態	講義	区分	選択
年次	1年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテルの仕入・購買業務、在庫管理業務の仕事の流れを学ぶ。また、経理や会計業務についても、財務諸表を活用した経営分析や税金など幅広い知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 ホテルの会計業務の一連の流れについて体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在庫管理業務の役割と責任を理解している。 2. 損益計算書や貸借対照表についての基礎知識を備えている。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 仕入・購買の基礎知識</p> <p>02: 仕入業務</p> <p>03: 出庫業務</p> <p>04: 在庫管理業務</p> <p>05: 情報収集と管理</p> <p>06: 経理・会計部門の概要</p> <p>07: 経理課の業務</p> <p>08: 収納課の業務</p> <p>09: クレジット課の業務</p> <p>10: ホテル業の収益会計と費用会計</p> <p>11: 損益計算書</p> <p>12: 貸借対照表</p> <p>13: 予算管理の基礎知識</p> <p>14: ホテル業の経営分析</p> <p>15: 税金の知識</p>				
テキスト 参考文献	日本ホテル教育センター「ホテルビジネス基礎編」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	ホテル経営学	授業形態	講義	区分	選択
年次	1年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ホテル経営に求められる、マーケティングや顧客管理、人事評価や労務管理などについて、企業の取り組み事例やニュースなどを参考にして学ぶ。</p> <p>【概要】 ホテル経営に必要な人事、総務部門の詳細な業務内容について理解を深める。</p>				
到達目標	<p>1. ホテル業界のマーケティングについて理解している。</p> <p>2. 労務管理や人材育成について基礎知識を身に付けている。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: マーケティング戦略</p> <p>02: SWOT 分析の概要</p> <p>03: マーケット・ポジショニング</p> <p>04: マーケティング・ミックス</p> <p>05: 顧客管理</p> <p>06: 労働三法の遵守</p> <p>07: ハラスメント対策</p> <p>08: 人事評価</p> <p>09: 社会保険の仕組み</p> <p>10: 労働時間と休日</p> <p>11: 社員教育制度について</p> <p>12: 省エネとエネルギー管理</p> <p>13: ホテルの IT 設備</p> <p>14: 廃棄物の処理について</p> <p>15: 施設管理関連法令</p>				
テキスト 参考文献	日本ホテル教育センター「ホテルビジネス基礎編」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	ホテル産業概論	授業形態	講義	区分	選択
年次	1年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 国内外の観光産業の動向とホテル産業の現状について学ぶ。また、ホテル産業が社会に対して担う役割や責任についても理解を深める。</p> <p>【概要】 国内外のホテル産業の動向に注目し、変化するニーズとトレンドについて理解を深める。</p>				
到達目標	<p>1. 世界の観光動向、ホテル産業の動向について理解している。</p> <p>2. ホテル業界の産業構造についての知識を身に付けている。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 世界の観光動向</p> <p>02: 国連世界観光機関 (UNWTO)</p> <p>03: 世界の宿泊産業 ヨーロッパ</p> <p>04: 世界の宿泊産業 アメリカ</p> <p>05: 世界の宿泊産業 アジア</p> <p>06: 日本の観光動向</p> <p>07: 日本の宿泊産業</p> <p>08: ホテル産業の位置づけ</p> <p>09: ホテル業の役割</p> <p>10: ホテル商品の特性</p> <p>11: ホテルの分類1 立地による分類</p> <p>12: ホテルの分類2 滞在期間による分類</p> <p>13: ホテルの分類3 運営方法による分類</p> <p>14: ホテルの分類4 価格帯による分類</p> <p>15: 変化するニーズとトレンド</p>				
テキスト 参考文献	日本ホテル教育センター「ホテルビジネス基礎編」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	食品文化論	授業形態	講義	区分	選択
年次	2年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 食品や食物、飲料に関する専門的な知識を体系的に学ぶ。また、食文化やテーブルマナーについても理解を深める。</p> <p>【概要】 ホテル・レストランで取り扱う食材について理解を深める。</p>				
到達目標	<p>1. ホテルで使用される食材全般について専門知識を備えている。</p> <p>2. 世界や日本の食文化について説明することができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 6つの基礎食品</p> <p>02: 前菜に使用される食材</p> <p>03: スープの分類と材料</p> <p>04: 魚・甲殻・貝類に関する知識</p> <p>05: 家畜（牛肉・羊肉・豚肉）に関する知識</p> <p>06: 家禽（鶏肉）に関する知識</p> <p>07: 野鳥獣肉（ジビエ）に関する知識</p> <p>08: 野菜に関する知識</p> <p>09: チーズに関する知識</p> <p>10: デザートに関する知識</p> <p>11: ワインの文化</p> <p>12: ビールの文化</p> <p>13: 日本酒と焼酎の文化</p> <p>14: コーヒーと紅茶の文化</p> <p>15: 食文化と食事作法（テーブルマナー）</p>				
テキスト 参考文献	日本ホテル・レストランサービス技能協会「西洋料理 料飲接客サービス技法」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	調理技法総論	授業形態	講義	区分	選択
年次	2年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 食材の仕込みから調理についての流れを理解するとともに、調理された料理の仕上げや提供方法についての知識と技術を身に付ける。</p> <p>【概要】 レストランにおける調理方法について理解を深める。</p>				
到達目標	<p>1. 食材の調理について説明することができる。</p> <p>2. ワゴンサービスの技術を身に付けている。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 魚の仕込み方法</p> <p>02: 肉の切り分け方</p> <p>03: 肉の焼き加減</p> <p>04: 肉類・魚類の基本的料理法</p> <p>05: 真空調理法</p> <p>06: スチーム・コンベクション・オーブン法</p> <p>07: オードブルの調理法</p> <p>08: スープの調理法</p> <p>09: 魚料理の代表的な調理法</p> <p>10: 肉料理の代表的な調理法</p> <p>11: デクパージュ作業の方法</p> <p>12: トランシュ作業の方法</p> <p>13: フランベ作業の方法</p> <p>14: 美食のための規則</p> <p>15: 調理法の名称の尊重</p>				
テキスト 参考文献	日本ホテル・レストランサービス技能協会「西洋料理 料飲接客サービス技法」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	食品衛生学	授業形態	講義	区分	選択
年次	2年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 顧客に安全な料理や飲料を提供するため、ホテルスタッフが遵守しなければならない、食品衛生に関する基礎知識から関係法令までを体系的に学ぶ。</p> <p>【概要】 ホテル・レストラン業界に必須の食品衛生についての法規および対処法の詳細を学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食中毒の原因やその対処法についての知識を有している。 2. 食品衛生に関する法令や規則について理解している。 				
授業内容	<p>回</p> <ol style="list-style-type: none"> 01: 食品衛生の定義と目的 02: 食品衛生行政の仕組み 03: 食中毒予防の三原則 04: 食品衛生に関する個人と集団の衛生 05: 食中毒の分類 06: 寄生虫の分類 07: 衛生害虫等の駆除 08: 腐敗および変敗 09: 食品保存の方法 10: 洗浄の方法 11: 食品の殺菌および消毒の方法 12: 調理施設の衛生管理 13: その他設備の衛生管理 14: 保健所の事業 15: 食品衛生法の概要 				
テキスト 参考文献	日本ホテル・レストランサービス技能協会「西洋料理 料飲接客サービス技法」				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	日本婚礼文化史	授業形態	講義	区分	選択
年次	1年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 日本における婚礼文化の成り立ちから、風習・慣習、現在までの変遷を体系的に学ぶ。また、現在のブライダル業界のトレンドや消費動向についても幅広く把握する。</p> <p>【概要】 日本の婚礼について、その歴史的背景および文化、慣習について詳細に学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の伝統的な婚礼について説明できる。 2. 現在のブライダル業界を取り巻く状況を把握している。 				
授業内容	<p>回</p> <ol style="list-style-type: none"> 01: 見合いと婚約 02: 結納と婚約式 03: 結納の形式 04: 結納品とその意味について 05: 結納のマナー 06: 婚約式 07: 神前式の歴史 08: 神前式の式次第 09: キリスト教式（プロテスタント）の概要 10: キリスト教式の式次第 11: 仏前式の歴史 12: 仏前式の式次第 13: 人前式の式次第 14: 披露宴の歴史 15: 披露宴のトレンド 				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	西洋婚礼文化史	授業形態	講義	区分	選択
年次	1年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 世界各国の婚礼にまつわる歴史・文化・宗教的背景について理解を深める。日本人の海外ウェディングや外国人の日本でのリゾートウェディングに対応できる国際感覚を身に付ける。</p> <p>【概要】 海外の婚礼文化について、とくに宗教との関連性を重視して理解を深める。</p>				
到達目標	<p>1. 日本の伝統的な婚礼について説明できる。</p> <p>2. 現在のブライダル業界を取り巻く状況を把握している。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 西洋の結婚式の歴史</p> <p>02: 古代の結婚式</p> <p>03: キリスト教結婚式の起源</p> <p>04: 宗教婚と民事婚の違いについて</p> <p>05: 婚約指輪と結婚指輪の起源</p> <p>06: キリスト教の宗派について</p> <p>07: カトリックの結婚式</p> <p>08: プロテスタントの結婚式</p> <p>09: アメリカの結婚式の变遷</p> <p>10: イギリスの結婚式の变遷</p> <p>11: フランスの結婚式の变遷</p> <p>12: イタリアの結婚式の变遷</p> <p>13: ユダヤ教の結婚式の变遷</p> <p>14: イスラム教の結婚式の变遷</p> <p>15: ヒンズー教の結婚式の变遷</p>				
テキスト 参考文献	<p>随時参考資料を配布する。</p>				
成績基準	<p>期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%</p>				
準備学習 の内容	<p>予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。</p>				

授業科目	宗教概論	授業形態	講義	区分	選択
年次	1年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 世界各国の宗教と婚礼の関係から、結婚生活の様式、法的な手続きについて体系的に学び理解を深める。また、今後増加するであろう国際結婚についても適切な対応ができる基礎知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 海外では婚礼に大きく影響を及ぼすさまざまな宗教について理解を深める。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 宗教の特徴と婚礼の関係性を理解している。 2. 外国人のゲストに対して適切な接客ができるスキルを有する。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: 宗教と結婚について</p> <p>02: キリスト教 カトリック概論</p> <p>03: カトリックの結婚式について</p> <p>04: キリスト教 プロテスタント概論</p> <p>05: プロテスタントの結婚式について</p> <p>06: ユダヤ教概論</p> <p>07: ユダヤ教の結婚式について</p> <p>08: イスラム教概論</p> <p>09: イスラム教の結婚式について</p> <p>10: ヒンドゥー教概論</p> <p>11: ヒンドゥー教の結婚式について</p> <p>12: 仏教概論</p> <p>13: 仏教の結婚式について</p> <p>14: 神道概論</p> <p>15: 神道の結婚式について</p>				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	ブライダル・サービス	授業形態	講義	区分	選択
年次	1年次	時期	2学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 挙式・披露宴当日のスタッフ全体の動きを把握することで、スムーズな運営・進行ができるスキルを身に付ける。また、多岐にわたる分野のスタッフの連携の重要性についても学ぶ。</p> <p>【概要】 結婚式のサービスに携わる各種業務について、その詳細を学ぶ。</p>				
到達目標	1. 挙式・披露宴の進行を理解しており、運営に携わることができる。 2. 部署の異動に対応できる職務能力を身に付けている。				
授業内容	回 01: 挙式・披露宴当日の流れ 02: 会場準備の動き 03: 新郎新婦の来館から挙式までの動き 04: 挙式・披露宴の動き 05: お見送りと後片付けの動き 06: トラブルが発生した際の対処方法 07: キャプテンの役割 08: アテンドの役割 09: サービススタッフの役割 10: テーブルセッティングの方法 11: 料飲サービスの方法 12: 司会の役割 13: 音響・照明の役割 14: フラワー・コーディネーターの役割 15: ドレス・コーディネーターの役割				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	ブライダル・セールス	授業形態	講義	区分	選択
年次	1年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ブライダル市場の動向から、地域ごとの特性、顧客の消費動向を学び、セールスの手法や成約までのアプローチ法を身に付ける。</p> <p>【概要】 婚礼の成約までの流れおよび国内の市場特性について理解を深める。</p>				
到達目標	<p>1. 現在の顧客のニーズやトレンドを理解している。</p> <p>2. 効果的な Web を活用した集客方法を身に付けている。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: ブライダル市場の概要</p> <p>02: 市場の規模と変化について</p> <p>03: 市場のエリア別特性について 1 関東</p> <p>04: 市場のエリア別特性について 2 東海</p> <p>05: 市場のエリア別特性について 3 北海道</p> <p>06: 市場のエリア別特性について 4 北陸</p> <p>07: 市場のエリア別特性について 5 四国</p> <p>08: 市場のエリア別特性について 6 沖縄</p> <p>09: ブライダルのハイシーズンと六輝</p> <p>10: Web を活用した集客方法</p> <p>11: 情報誌を活用した集客方法</p> <p>12: ブライダルフェア・試食会の集客方法</p> <p>13: 新規接客の対応</p> <p>14: 予約・見積もり</p> <p>15: 成約までの流れ</p>				
テキスト 参考文献	<p>随時参考資料を配布する。</p>				
成績基準	<p>期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%</p>				
準備学習 の内容	<p>予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。</p>				

授業科目	コンサルティングスキル	授業形態	講義	区分	選択
年次	1年次	時期	3学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 ウェディングプランナーとして、結婚式・披露宴の打合せをする際に必要なコミュニケーション・スキルについて体系的に学ぶ。</p> <p>【概要】 打合せの中で顧客の気持ちに寄り添うコミュニケーションスキルの知識について学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 顧客との信頼関係を築くスキルを身に付ける。 会話を通して、顧客の要望を引き出すことができる。 				
授業内容	<p>回</p> <p>01: コンサルタントの役割</p> <p>02: コミュニケーション・スキルの概要</p> <p>03: バーバルとノンバーバル</p> <p>04: 対人関係の構築</p> <p>05: ジョハリの窓とフィードバック</p> <p>06: アクティブ・リスニングの手法</p> <p>07: オープン質問とクローズ質問</p> <p>08: 内容の理解と感情の理解</p> <p>09: アサーションとは</p> <p>10: アサーティブな表現とは</p> <p>11: コンサルタントのリーダーシップ</p> <p>12: コンサルタントのコミュニケーション</p> <p>13: コンサルタントのネゴシエーション</p> <p>14: インタビュースキル</p> <p>15: ケーススタディーとまとめ</p>				
テキスト 参考文献	<p>随時参考資料を配布する。</p>				
成績基準	<p>期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%</p>				
準備学習 の内容	<p>予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。</p>				

授業科目	空間デザイン	授業形態	講義	区分	選択
年次	2年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 挙式・披露宴のテーマやコンセプトに沿った、会場やテーブルなどのトータルコーディネートの手法を、国内外の事例から学ぶ。</p> <p>【概要】 挙式・披露宴会場のコーディネート、カラーバランス、ディスプレイについて体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. カラーバランスやディスプレイの基礎知識を身に付けている。 2. テーマに沿ったデザインを提案することができる。 				
授業内容	<p>回</p> <ol style="list-style-type: none"> 01: 空間デザインの概要 02: ウェディング装飾の基礎 03: プランナーとデザイナーの違い 04: 海外のデザイン例から学ぶ 05: 結婚式のテーマとコンセプト 06: 装飾のバランスとコーディネーション 07: コンセプトの引出し方 08: ペーパーアイテムによるテーマの表現 09: テーブルセッティング 10: ガーデンウェディングの装飾 11: リネン類の装飾 12: フラワーの空間デザイン 13: カラーコーディネート応用 14: 国内式場の実例から学ぶ空間デザイン1 15: 国内式場の実例から学ぶ空間デザイン2 				
テキスト 参考文献	随時参考資料を配布する。				
成績基準	期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%				
準備学習 の内容	予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。				

授業科目	婚礼服飾文化論	授業形態	講義	区分	選択
年次	2年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 婚礼に関するドレスや和装のプロトコルをはじめ、実際の着付けの技術や知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 婚礼に関するフォーマルウェアのプロトコルについて詳細に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. ドレスコーディネートをもとにした提案ができる。</p> <p>2. フォーマルウェアについてのTPOを説明することができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: フォーマルの定義 (TPO)</p> <p>02: フォーマルライフスタイル</p> <p>03: フォーマルウェアの歴史</p> <p>04: フォーマルウェアの分類</p> <p>05: 婚礼の正礼装</p> <p>06: 婚礼の準礼装</p> <p>07: 婚礼の略礼装</p> <p>08: ドレスフィッティング1</p> <p>09: ドレスフィッティング2</p> <p>10: 昼間の正礼装</p> <p>11: 昼間の準礼装</p> <p>12: 昼間の略礼装</p> <p>13: 夜間の正礼装</p> <p>14: 夜間の準礼装</p> <p>15: 夜間の略礼装</p>				
テキスト 参考文献	<p>随時参考資料を配布する。</p>				
成績基準	<p>期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%</p>				
準備学習 の内容	<p>予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。</p>				

授業科目	婚礼装花理論	授業形態	講義	区分	選択
年次	2年次	時期	1学期		
授業回数	15回	単位 時間数	30時間	実務家	
授業目的 概要	<p>【目的】 装花の基礎知識やトレンドについて理解している。また、卓上装花やブーケ・ブートニアについての作成技術を身に付けている。</p> <p>【概要】 婚礼に欠かせない花の知識から、装花作成の技術までを段階的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 婚礼で使用される花の役割について説明することができる。</p> <p>2. 会場のフラワーコーディネートについての知識を身に付ける。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01: ブライダルにおける花の役割</p> <p>02: 花装飾の変遷 欧米</p> <p>03: 花装飾の変遷 日本</p> <p>04: 花からのメッセージ</p> <p>05: 花装飾提案のスキル</p> <p>06: 誕生花の知識</p> <p>07: 花言葉の知識</p> <p>08: フラワービジネスシステム</p> <p>09: 会場装花1 披露宴会場</p> <p>10: テーブル装花の作成1</p> <p>11: テーブル装花の作成2</p> <p>12: 会場装花2 挙式会場</p> <p>13: ブーケ・ブートニアの知識</p> <p>14: ブーケの作成1</p> <p>15: ブーケの作成2</p>				
テキスト 参考文献	<p>随時参考資料を配布する。</p>				
成績基準	<p>期末テスト 70% 演習問題等の提出 30% 計 100%</p>				
準備学習 の内容	<p>予習事項として指示された課題に取り組んでから授業に出席すること。</p>				